

# 本場食品衛生検査所

# 理化学検査情報

Vol.68 2022 No.6  
令和4年11月発行



今号の内容:令和4年7月から9月までに検査した

残留農薬検査結果  
放射性物質検査結果  
総水銀検査結果  
自然毒検査結果  
動物用医薬品検査結果

横浜市健康福祉局中央卸売市場本場食品衛生検査所

電話: 045-441-1153

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/shoku/shokuhineisei/>



## 1 残留農薬検査

令和4年7月から9月までの残留農薬検査は、国産農産物19検体(15種)、輸入農作物1検体(1種)について実施しました。このうち農薬を検出した検体数は3検体(5農薬)で、残留基準値を超えた検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきよ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

### (1) 国産農産物検査結果

検出値、基準値:検体1kgあたりに含まれる農薬のmg数(PPM)

検体名	産地	収去日	収去場所	検出農薬	結果	基準値
ミズナ	茨城県	令和4年7月7日	本場市場	なし	不検出	なし
コマツナ	埼玉県	令和4年7月7日	本場市場	なし	不検出	なし
カリフラワー	長野県	令和4年7月7日	本場市場	なし	不検出	なし
キャベツ	秋田県	令和4年7月7日	本場市場	なし	不検出	なし
ダイコンの根	北海道	令和4年8月4日	本場市場	なし	不検出	なし
キャベツ	群馬県	令和4年8月4日	本場市場	なし	不検出	なし
ピーマン	福島県	令和4年8月4日	本場市場	なし	不検出	なし
サラダ菜	千葉県	令和4年8月4日	本場市場	なし	不検出	なし
ブドウ	山形県	令和4年8月4日	本場市場	なし	不検出	なし
シシトウ	山形県	令和4年8月9日	南部市場	なし	不検出	なし
アスパラガス	山形県	令和4年8月9日	南部市場	ボスカリド	0.02	30
ニラ	茨城県	令和4年8月9日	南部市場	なし	不検出	なし
キュウリ	山形県	令和4年8月9日	南部市場	なし	不検出	なし
ナス	群馬県	令和4年8月9日	南部市場	なし	不検出	なし
キャベツ	長野県	令和4年9月1日	本場市場	なし	不検出	なし
カリフラワー	長野県	令和4年9月1日	本場市場	なし	不検出	なし
チンゲンサイ	秋田県	令和4年9月1日	本場市場	なし	不検出	なし
サツマイモ	茨城県	令和4年9月1日	本場市場	なし	不検出	なし
ブドウ	山形県	令和4年9月1日	本場市場	クレソキシムメチル	0.11	15

### (2) 輸入農産物検査結果

検出値、基準値:検体1kgあたりに含まれる農薬のmg数(PPM)

検体名	産地	収去日	収去場所	検出農薬	結果	基準値
グレープフルーツ	南アフリカ共和国	令和4年7月7日	本場市場	イマザリル	1.8	5.0
				ピラクロストロビン	0.04	2
				メトキシフェノジド	0.01	3

## 検出した農薬について

農薬名	種類	特徴
イマザリル	イミダゾール系抗真菌剤	作用機序は真菌の細胞壁のエルゴステロール生合成を阻害する。添加物では防かび剤として使用されている。
クレソキシムメチル	ストロビルリン系殺菌剤	作用機構はミトコンドリア内のチトクローム電子伝達系阻害による呼吸障害で、結果として孢子発芽および菌糸伸長を阻害すると考えられている。日本では1997年に初めて農薬登録された。
ピラクロストロビン	ストロビルリン系殺菌剤	1993年に開発された。ミトコンドリア内のチトクローム電子伝達系阻害による呼吸阻害により、殺菌活性を示す。外国ではスイス、ドイツ、フランス等で登録されている。日本では2006年9月に初回登録された。
ボスカリド	アニリド系殺菌剤	1992年に発見された。ミトコンドリア内膜のコハク酸脱水素酵素系複合体の電子伝達を阻害することで灰色かび病、菌核病に効果を示す。日本では2005年に初めて農薬登録された。
メトキシフェノジド	ベンゾイルヒドラジン系殺虫剤	米国で開発された。昆虫の幼虫にエクダイソン様の作用を示し、異常脱皮を促すことにより殺虫効果を現す。日本では2001年に初回農薬登録された。

参考:内閣府食品安全委員会 食品安全情報システム 評価書

環境省 水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準について  
農業工業会

## 2 放射性物質検査

令和4年7月から9月までの放射能検査は、水産物27検体、農産物9検体の合計36検体について実施しました。基準値を超えた検体はありませんでした。

放射性セシウムの基準値はセシウム134とセシウム137の合計で設定されています。

- 乳児用食品については1kgあたり50ベクレル以下
- 飲料水については1kgあたり10ベクレル以下
- 牛乳については1kgあたり50ベクレル以下
- その他、一般食品については1kgあたり100ベクレル以下

### (1) 水産物検査結果

セシウム検出値、合計:1kgあたりのベクレル数

検体名	産地	漁獲水域	買取日	セシウム134 検出値	セシウム137 検出値	セシウム 合計	備考
タラ(フィレ)	岩手県	三陸北部沖宮古港	令和4年7月1日	不検出	不検出	不検出	天然
カツオ	宮城県	三陸北部沖気仙沼港	令和4年7月1日	不検出	不検出	不検出	天然
イサキ	千葉県	房総沖船形港	令和4年7月1日	不検出	不検出	不検出	天然
シログチ(インモチ)	宮城県	宮城沖石巻港	令和4年7月15日	不検出	不検出	不検出	天然
マコガレイ	青森県	青森沖下北港	令和4年7月15日	不検出	不検出	不検出	天然
ヒラメ	青森県	青森沖下北港	令和4年7月15日	不検出	不検出	不検出	天然
ブリ	北海道	北海道沖花咲港	令和4年7月29日	不検出	不検出	不検出	天然
タチウオ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和4年7月29日	不検出	不検出	不検出	天然
マダイ	青森県	青森県沖横浜港	令和4年7月29日	不検出	不検出	不検出	天然
マコガレイ	青森県	青森県沖八戸港	令和4年8月5日	不検出	不検出	不検出	天然
ヒラメ	青森県	青森県沖下北港	令和4年8月5日	不検出	不検出	不検出	天然
ババガレイ(ナメタガレイ)	宮城県	宮城県沖石巻港	令和4年8月5日	不検出	不検出	不検出	天然
ギンザケ(フィレ)	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和4年8月18日	不検出	不検出	不検出	養殖
マイワシ	岩手県	三陸北部沖宮古港	令和4年8月18日	不検出	不検出	不検出	天然
ブリ(イナダ)	岩手県	三陸北部沖山田港	令和4年8月18日	不検出	不検出	不検出	天然
カツオ	宮城県	日立鹿島沖気仙沼港	令和4年8月26日	不検出	不検出	不検出	天然
マアジ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和4年8月26日	不検出	不検出	不検出	天然
マサバ	岩手県	三陸北部沖宮古港	令和4年8月26日	不検出	不検出	不検出	天然
チダイ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和4年9月2日	不検出	不検出	不検出	天然
マコガレイ	青森県	青森県沖下北港	令和4年9月2日	不検出	不検出	不検出	天然
ヒラメ	青森県	青森県沖下北港	令和4年9月2日	不検出	不検出	不検出	天然
マイワシ	千葉県	房総沖銚子港	令和4年9月9日	不検出	不検出	不検出	天然
ブリ(ワラサ)	千葉県	日立鹿島沖銚子港	令和4年9月9日	不検出	不検出	不検出	天然
サンマ	北海道	日本太平洋沖合北部 花咲港	令和4年9月9日	不検出	不検出	不検出	天然

検体名	産地	漁獲水域	買取日	セシウム134 検出値	セシウム137 検出値	セシウム 合計	備考
ヤリイカ	宮城県	宮城県沖石巻港	令和4年9月30日	不検出	不検出	不検出	天然
マコガレイ	青森県	青森県沖八戸港	令和4年9月30日	不検出	不検出	不検出	天然
マイワシ	北海道	北海道沖根室港	令和4年9月30日	不検出	不検出	不検出	天然

(2) 農産物検査結果

セシウム検出値、合計:1 kgあたりのベクレル数

検体名	産地	買取日	セシウム134 検出値	セシウム137 検出値	セシウム合計	備考
トマト	青森県	令和4年7月22日	不検出	不検出	不検出	ハウス
キュウリ	福島県	令和4年7月22日	不検出	不検出	不検出	ハウス
ピーマン	岩手県	令和4年7月22日	不検出	不検出	不検出	露地
キュウリ	福島県	令和4年8月19日	不検出	不検出	不検出	露地
ナス	群馬県	令和4年8月19日	不検出	不検出	不検出	露地
トマト	福島県	令和4年8月19日	不検出	不検出	不検出	ハウス
キュウリ	福島県	令和4年9月16日	不検出	不検出	不検出	ハウス
トマト	栃木県	令和4年9月16日	不検出	不検出	不検出	ハウス
キャベツ	岩手県	令和4年9月16日	不検出	不検出	不検出	露地

### 3 総水銀検査

令和4年7月から9月までの魚介類の総水銀検査は、10検体(7魚種)について実施しました。暫定的規制値を超えた検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

魚介類の水銀の暫定的規制値:検体1kgあたり総水銀0.4mgかつメチル水銀0.3mg

総水銀検査結果

検出値:検体1kgあたりに含まれる水銀のmg数(PPM)

検体名	産地	備考	収去日	検出値
マダイ	三重県	養殖	令和4年7月14日	0.38
カンパチ	大分県	養殖	令和4年7月14日	0.11
ブリ(ハマチ)	三重県	養殖	令和4年7月14日	0.34
カンパチ	鹿児島県	養殖	令和4年7月14日	0.14
マダイ	愛媛県	養殖	令和4年7月14日	0.28
ブリ(イナダ)	岩手県	天然	令和4年9月15日	0.08
マサバ	宮城県	天然	令和4年9月15日	0.16
アオメエソ(メヒカリ)	茨城県	天然	令和4年9月15日	0.02
クロウシノシタ(シタビラメ)	千葉県	天然	令和4年9月15日	0.02
マイワシ	北海道	天然	令和4年9月15日	0.01

## 4 自然毒検査

### 貝毒検査

令和4年7月から9月までの貝毒検査は、下痢性、麻痺性ともに国産10検体、輸入6検体、合計16検体、3種の貝について実施しました。LC/MS/MSによる機器分析法により下痢性貝毒、マウス法により麻痺性貝毒を検査した結果、規制値を超過した検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

### 貝毒の規制値

- 下痢性貝毒は1kgあたり0.16mgオカダ酸当量(注釈1)以下
- 麻痺性貝毒は1gあたり4マウスユニット(注釈2)以下

注釈1:オカダ酸当量とは、測定で得られたオカダ酸、ジノフィシトキシン-1、ジノフィシトキシン-2の検出値に係数を乗じた値の総和のことを言います。

注釈2:マウスユニットとは、貝およびフグ等様々な毒素の影響量に対する単位のことを言います。麻痺性貝毒の場合、体重20グラムのマウスが15分で死亡する毒力が1マウスユニットと定義されています。

### 貝毒検査結果

下痢性貝毒検出値:検体1kgあたりのmg数(PPM)

麻痺性貝毒検出値:検体1gあたりのマウスユニット

検体名	産地	収去日	下痢性貝毒検出値	麻痺性貝毒検出値
ホタテガイ	宮城県	令和4年6月30日	0.01	2.25
ハマグリ	中国	令和4年6月30日	不検出	1.75未満
ホタテガイ	宮城県	令和4年6月30日	0.03	2.79
アカガイ	韓国	令和4年6月30日	不検出	2.38
ハマグリ	国産	令和4年7月28日	不検出	1.75未満
ホタテガイ	宮城県	令和4年7月28日	0.02	1.96
ホタテガイ	宮城県	令和4年7月28日	0.01	1.82
アカガイ	韓国	令和4年7月28日	不検出	1.75未満
ハマグリ	中国	令和4年8月25日	不検出	1.75未満
ホタテガイ	宮城県	令和4年8月25日	不検出	1.75未満
ホタテガイ	岩手県	令和4年8月25日	不検出	1.75未満
アカガイ	中国	令和4年8月25日	不検出	1.85
ホタテガイ	宮城県	令和4年9月22日	不検出	1.75未満
ハマグリ	愛知県	令和4年9月22日	不検出	1.75未満
ホタテガイ	宮城県	令和4年9月22日	不検出	1.75未満
アカガイ	韓国	令和4年9月22日	不検出	1.86



## 5 動物用医薬品検査(抗生物質、合成抗菌剤、ホルモン剤、内寄生虫用剤等)

令和4年7月から9月までの抗菌性物質検査は、養殖魚5検体、うなぎ蒲焼4検体について実施しましたが、基準値を超える検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

### 動物用医薬品検査結果

検出値:検体1kgあたりのmg数(PPM)

検体名	産地	収去日	検出薬剤	検出値	基準値
マダイ(養殖)	三重県	令和4年7月14日	なし	なし	なし
カンパチ(養殖)	大分県	令和4年7月14日	オキシテトラサイクリン	0.02	0.2
ブリ(ハマチ)(養殖)	三重県	令和4年7月14日	なし	なし	なし
カンパチ(養殖)	鹿児島県	令和4年7月14日	なし	なし	なし
マダイ(養殖)	愛媛県	令和4年7月14日	なし	なし	なし
うなぎ蒲焼	中国	令和4年8月1日	なし	なし	なし
うなぎ蒲焼	中国	令和4年8月1日	オキシテトラサイクリン	0.03	0.2
うなぎ蒲焼	静岡県	令和4年8月1日	なし	なし	なし
うなぎ蒲焼	宮崎県	令和4年8月1日	なし	なし	なし